
プロジェクト **企業会計基準諮問会議からの報告**

項目 **第 49 回企業会計基準諮問会議（2023 年 11 月 22 日開催）に関する報告**

企業会計基準諮問会議議長による報告

1. 2023 年 11 月 22 日に開催された第 49 回企業会計基準諮問会議について、下記のとおり報告いたします。

記

テーマ提言について

2. 今回、テーマ提言を行うテーマは次のとおりです。

上場企業等が保有する VC ファンドの出資持分に係る会計上の取扱いについて

本件は、一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会より、上場企業等が保有する VC ファンドの出資持分について、公正価値評価を含む会計処理の検討が提案されたものです。貴委員会の金融商品専門委員会のテーマ評価の結果（審議事項(1) 参考資料 4）を踏まえて検討を行った結果、本件をテーマとして提言することとされました。具体的には審議事項(1)-2 をご覧ください。

3. 前回第 48 回企業会計基準諮問会議（2023 年 7 月 3 日開催）以前に新規のテーマとして提案されたテーマの状況は次のとおりです。

株式報酬に関する会計処理及び開示の取扱いの整備について

第 43 回企業会計基準諮問会議（2021 年 11 月 29 日開催）において、新規のテーマとして提案された株式報酬に関する(1)から(3)のテーマについて、まず(1)に関するテーマ評価を進めていますが、前回第 48 回企業会計基準諮問会議以降、テーマ評価に関する追加の報告はありません。

- (1) いわゆる現物出資構成による取引に関する会計基準の開発
- (2) 現金決済型の株式報酬取引に関する会計基準の開発
- (3) インセンティブ報酬に関する包括的な会計基準の開発

実務対応報告第 19 号「繰延資産の会計処理に関する当面の取扱い」の改正

本件は、第 48 回企業会計基準諮問会議において、学識経験者（企業会計基準諮問会議委員）より、実務対応報告第 19 号で定められている繰延資産の会計処理のうち、株式交付費、新株予約権発行費、社債発行費、創立費及び開業費の会計処理の検討が提案されたものです。本件については、貴委員会の実務対応専門委員会のテーマ評価の結果（審議事項(1) 参考資料 3）を踏まえて検討を行った結果、今後、企業会計基準諮問会議でテーマ提言するにあたり、繰延資産の会計処理の見直しの範囲を検討することとされました。また、本テーマを貴委員会に提言する場合には、貴委員会のリソースに応じた対応を行うことを付言することとされました。

4. 今回、第 49 回企業会計基準諮問会議で新規のテーマとして提案されたテーマの状況は次のとおりです。

バーチャル PPA の会計処理について

本件は、日本公認会計士協会より、環境意識の高まりとともに今後、取引の拡大が見込まれるバーチャル PPA（電力購入契約の一種）の会計処理の明確化が提案されたものです（審議事項(1) 参考資料 5-1 及び 5-2）。本件については、貴委員会の実務対応専門委員会にテーマ評価を依頼することとされました。

5. 以上の議論に関して企業会計基準諮問会議において聞かれた意見については審議資料(1) 参考資料 1 をご覧ください。

企業会計基準委員会の活動状況について

6. 貴委員会の最近の活動状況について、ご説明いただいたうえで質疑応答を行いました。企業会計基準諮問会議において聞かれた意見については審議事項(1) 参考資料 2 をご覧ください。貴委員会の活動のご参考としてください。

以 上